

催吐リスク High(fosa)

胃 (CDDP60/d8+s-1/d1-21)c35d

薬剤名	投与経路	投与量	希釈液	点滴時間 (分)	投与日(day)
ホスアプレピタント	注射	150	mg		8
デキサメタゾン	注射	9.9	mg		8
グラニセトロン	注射	1	mg 生食	100 mL 30	8
シスプラチン	60	mg/m ²	生食	500 mL 60	8
				mL	
				mL	
				mL	
				mL	

内服薬

デキサメタゾン 8mg 分2 朝昼食後 day9,10,11

オランザピン 5mg 分1 眠前 day8,9,10,11

S-1 分2 day1-21

投与基準等

Ⅱ. 投与基準 (例:白血球 $\geq 2000/\text{mm}^3$ 、好中球 $\geq 1000/\text{mm}^3$)

血色素量 $\geq 8.0\text{g/dL}$ 、 $12,000 >$ 白血球数 $\geq 3,000/\text{mm}^3$ 、血小板数 $\geq 100,000/\text{mm}^3$ 、AST・ALT $\leq 100\text{U/L}$ 、
 総ビリルビン $\leq 1.5\text{mg/dL}$ 、血清クレアチニン $\leq 1.2\text{mg/dL}$ 、クレアチニンクリアランス $\geq 50\text{mL/min}$

Ⅲ. 減量基準 (例: Grade3 以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量)

ティーエスワン

白血球数 \geq Grade4(感染を伴う場合 G3)、好中球減少 \geq Grade4(感染を伴う場合 G3)、血小板 \geq G4、下痢・口内炎・皮膚症状 \geq Grade3 時、次回より投与量を減量基準に従い減量する。(120→100→80→休薬又は投与期間の短縮)

シスプラチン

白血球数 \geq Grade4(感染を伴う場合 G3)、好中球減少 \geq Grade4(感染を伴う場合 G3)、血小板 \geq G4、下痢・口内炎・皮膚症状 \geq Grade3、シスプラチン投与によると疑われる Grade4 の食欲不振 時、次回より投与量を減量基準に従い減量する。(10mg/m² ずつ減量)

Ⅳ. 重大な副作用 (例:好中球減少 Grade3 以上37.5%)

G3 以上の副作用を記載 n=148

貧血 26%、好中球減少 40%、血小板減少 5%、下痢 4%、食欲不振 30%、悪心・嘔吐 12%、ビリルビン上昇 1%、AST・ALT 上昇 0%